

術後再発食道扁平上皮癌のリンパ節転移巣、遠隔転移巣に対する外科的切除の意義に関する全国実態調査

1. 研究の対象

防衛医科大学校病院外科1において2009年1月1日～2013年12月31日までに食道扁平上皮癌の再発病変に対する外科的切除を受けられた方

2. 研究目的・方法

食道扁平上皮癌の再発病変に対する外科的切除の有用性に関する報告は、少数例での検討に留まっており、その有用性や適応基準に関しては一定の見解が得られていないのが現状です。本研究は、全国的に食道癌の再発病変に対する外科的切除に関する実態調査を実施することにより、切除によって長期的な予後が期待できる患者さんの特徴及び傾向を明らかにすることです。

この研究は、日本食道学会食道外科専門医認定施設である当院で得られた情報を回答し、下記の臨床情報について調査票を郵送にて送付し、九州大学病院消化器・総合外科にて回収されます。

・ 予定調査期間：2009年1月1日～2013年12月31日。

・ 研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より2018年12月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

<調査する診療情報>

年齢、性別、併存基礎疾患、腫瘍占拠部位、臨床的進行度、病理組織学的所見(組織型、進行度、術前治療効果(Grade))、再発部位、再発までの期間、術式(初回及び再発時)、術前・術後併用治療の有無とその内容(初回及び再発時)、再発巣切除の目的(根治か緩和か)、再発巣切除時の癌の遺残の有無、治療成績(術後合併症、長期予後)について調査致します。複数回の再発巣切除が行われている場合は、すべての情報を調査致します

4. 外部への試料・情報の提供

多施設共同研究であり、アンケートを作成したものを九州大学病院消化器・総合外科に報告し解析されます。

個人情報の管理について個人情報漏洩を防ぐため、防衛医科大学校外科においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者様を特定できる情報は一切含まれません。

5. 研究組織

九州大学消化器・総合外科（第二外科） ほか

日本食道学会食道外科専門医認定施設（110施設）

九州大学消化器・総合外科（第二外科）ホームページ <http://www.kyudai2geka.com/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：

施設：防衛医科大学校病院

診療科：外科 1.3

職名：助教

氏名：矢口義久

連絡先：〒359-8513

埼玉県所沢市並木 3-2

Tel: 04-2995-1637

研究責任者：

施設：防衛医科大学校病院

診療科：外科 1.3

職名：講師

氏名：平木修一

連絡先：〒359-8513

埼玉県所沢市並木 3-2

Tel: 04-2995-1637

研究代表者：

施設：九州大学院

診療科：医学研究院外科分子治療学講座

職名：准教授

氏名：佐伯浩司

連絡先：〒812-8582

福岡市東区馬出 3-1-1

Tel: 092-642-5466